

議会だより

第3回議会定例会開かれる

- 一問一答方式を試行的に導入！ 4名の議員から7項目の一般質問
- 決算特別委員会を設置
- 平成24年度決算を全会一致で「認定」



全力で走る 『さわやかマラソン』

NO.

71

平成25年11月

発行：比布町議会

編集：議会広報特別委員会

第3回議会定例会

平成25年第3回議会定例会は、9月10日と12日に開会されました。はじめに町長の行政報告が行われ、一般質問、補正予算などが審議されました。一般質問は、今定例会より一問一答方式を試行的に導入。同方式により、4名の議員から7項目の質問がありました。

なお、紙面の都合上、その内容の要旨のみを掲載させていただきます。



第3回議会定例会の様子

比布町公営住宅等 長寿命化計画と現状



佐藤康則 議員

佐藤議員 本計画は、住生活基本法の制定を踏まえ、平成23年に策定され、老朽化による事故・居住性の低下を未然に防止することを目的としますが、南町団地2階建て初期の3棟14戸は、建物周辺の状況変化・長尺や断熱材の劣化が進み結露が激しく、落下する雪氷の衝撃でガラスサッシや換気フードの破損が相次ぎ、大変危険な時節が毎年繰り返されます。

計画の判定は、平成28年より簡易な室内改修を施す予定で、現状の危険性を判定に考慮した結果か伺います。

伊藤町長 ガラス破損の報告は数件あり、内1件は4年前、落雪が居間に入っているのを確認し、庭先の除雪と雪庇落としを再説明しました。

計画策定時は、過去2年の大雪も無く、その危険性に配慮すると、屋根の改善・計画変更への慎重な検討が必要になります。

佐藤議員 この3棟の落雪は、

時節的ではあるが、毎年大変危険で調査・確認が必要です。

4年前サッシが破損し、居室内に雪庇やガラスが散乱した経過があり何故、危険性に対しての疑義・計画反映の検討をされなかつたか伺います。

水間建設課長 4年前の件は、入居者の管理不十分と判断し計画への反映はしませんでした。



冬期間の雪庇が心配される南団地

佐藤議員 小屋裏の確実な断熱・換気、結露防止策を取れば、降雪があっても屋根勾配を伝い、薄層のうちに自然落下することが可能だと思います。

居住者の年齢等についても配

慮しながら、今後の維持管理を進める必要はありませんか。

伊藤町長 入居世帯の配慮、結露対策についても、技術的に可能か検討をします。

来る町長選挙へ向けての決意は

佐藤康則議員

佐藤議員 平成18年1月伊藤町長初登庁以来、2期8年の任期を目前にしております。

喫緊する重要諸課題に取り組み解決する為、三度町政執行を担う決意があるか伺います。

伊藤町長 関係各位に支えられ、首長としての任務を果して参りましたが、この間反省すべき点・やり残した事も多々あり、支援をいただけたのであれば、改めて次期町長選挙に立直し町政を担わせていただきたいとの決意を、今持っているところで

佐藤議員 事実上の立起表明と解釈してよろしいですね。

伊藤町長 そのように解釈していただいて結構です。

佐藤議員 今般までのまちづ

くりは、厳しい予算の中でも町長・町職員全員の努力で、一定程度の財源を確保してきました。当選後、3期目の町政運営はどの様なまちづくりを目標とするか伺います。

伊藤町長 私の町政に対する理念は従来と変わらず、今後は確実に進む少子高齢化を直視し、いつまでも安心して心豊かに暮らす事、体や心をリフレッシュできる環境整備の必要性を認識し、スポーツ・文化・保養施設の改修支援等も進めます。比布町は現在も無限の魅力と可能性を秘めた町と確信しており、町民関係各位と共に、必要な政策を着実に実行するまちづくりを目指して参ります。

消防署比布支署の状況について

那須議員 上川中部消防組合の解散にあたり、結果的に大雪消防組合に加入すると決断した経過と理由を伺います。

伊藤町長 当初、旭川市を含む1市8町での一部事務組合方式の広域化を考えましたが、難しいとの結論になり、その後、上川中部消防組合で議論し、一部事務組合方式か全面委託方式かで再び議論が分かれました。委託方式では、本町の安心安全を守っていくための責任が薄れる心配があり、今の体制が大きく変わらない一部事務組合方式を選択し、大雪消防組合との広域化が現状では一番と判断しました。

本年7月8日に消防広域化に関する具体的な進め方を協議する準備会を立ち上げ、副町長で組織する会議、事務レベルの課長等会議を開催しております。現状の中では当麻、愛別、比布の連携も執っていて、本部が離れていても大きな災害に対して



那須莞爾 議員

は応援協定で互いの消防力の強化は図られます。さらに、組織が大きくなることから経費も削減できると思っています。



今年3月に更新された小型動力ポンプ付水槽車

那須議員 今後協議される事項の中に消防団員の処遇がありますが、具体的にどのようになるのか伺います。

伊藤町長 特に団員の処遇については、報奨金、永年勤続表彰

制度の面で調整が必要と思っております。

現在行っている団員退団時の報奨金制度は大雪消防組合には無いため、今の時点では、新たに加入する3町の中で、当面の間、維持できるように協議を進めたい

比布町商工業振興への考えは

今井議員 比布町は第一次産業の水稲生産を中心とした農業が柱の町です。

国の農業政策である経営所得安定対策をはじめとする補助制度により方向が進みます。

一方、商工業振興政策は中小企業庁による地域中小企業支援事業等関係する団体や組織によるものがほとんどであります。

本町の零細、中小企業数は現状では微減状態でありますが、今後は激減の一途を辿ります。

今後予定されている消費税増税に伴うPOS等のシステム改修や、9月から実施されました電気料金値上げなど、経営を圧迫するものばかりです。

と思っております。

また、報酬等については、若干違いがありますが、訓練出勤費等を含め年間の支給額では、大きな差はないと思っております。今後しっかりと調整をして行きたいと考えます。



今井 明信 議員

農業者、個人事業者、給与所得者と額こそ違いますが同じ納税者であります。プレミアム商品券発行事業の継続実施も含め、町の考え方と支援について町長に伺います。

伊藤町長 本町の商工業者で構成されている商工会や商店街等は、単に買い物をする場所だけでは無く、地域住民の憩いの場であり、地域の祭礼やイベント、地域活動を担っていただく大切なコミュニティ機能を有する場でもあります。ご質問のとおり農業関係補助は国や北海道補助そして町単独補助事業などの施策を展開しています。

現行、町では商工業の振興と

活性化を図る目的で、設備投資や運転資金のための「中小企業融資利子補給」、店舗の新・改築のための「商工業振興事業補助」、空き家等の活用のための「チャレンジショップ支援事業」、地域振興、観光振興を目的とする「地域振興イベント事業補助」等各種予算計上をしており、これらの有効活用を図っていたらければと考えております。



プレミアム商品券販売時の様子

プレミアム商品券についてですが、平成21年4月、12月、平成23年4月と過去3回発売されており、合計で1億9790万円の購買機会が発生しました。また3回の町事業費補助は4257万円であり、その財源は臨時

交付金からの充当がほとんどでありました。私は、このプレミアム商品券事業を否定はしません。が実施に当たり商工会会員の皆様にこの事業に対する効果、意欲や足を運んでもらう工夫等がもう少しあればと思いました。

今井議員 商工業には多種多様な業種があり電気料金も契約内容により異なりますが、事業所では一律約11%の値上げ率のようです。この約1割の利益を出すということは相当に大変な労力です。

また現在の中東情勢を見込みますと原油の高騰は間違いなく、それに伴う輸入商品の値上りも始まっています。来年4月に実施予定の消費税増税によりPOS、レジスター、メニュー等の表示価格の改定等で経費等も増えます。

事業者の就労意識を高める事も含めた支援を考えていただき、プレミアム商品券事業の実施を強く要望いたします。

伊藤町長 電気料金については商店だけではなく町の施設等々、すべてに関わる事です。値上げ分の利益を上げる事の難しさも否定はしませんし理解もします。しかし、相当部分を町が負

担支援することは今現在の中では難しいと思います。むしろ11%の売上を伸ばす支援が適正と現状では思います。

これまでのプレミアム商品券

国保の広域化で社会保障制度は守られるか

遠藤ハル子議員 財政難に苦しむ市町村の中には「広域化」を歓迎する声が出ています。

町長は事あるごとに「広域化でなければやれない」と発言されています。私はそれが今ある問題を解決する道だとは思いません。解決するどころか、国保財政の崩壊への道となります。

なぜ、国保の広域化(都道府県単位化)に反対しているのか。

①広域化は国の責任放棄につながります。1984年の国庫負担の約50%から2011年度は約25%に削減しています。

②国保財政問題が現状以上に悪化する事です。いま行われている一般会計からの繰り入れを都道府県が肩代りできなければ大幅な国保税の引き上げです。

事業の効果を検証し、さらに事業効果がでるよう協議をさせていただきたいと思っています。



遠藤ハル子議員

③事業運営の問題です。現在の市町村国保は被保険者が参加する運営協議会と議会の議論を通じて、地域の実情に合わせた事業運営方針を決める事ができます。これが広域化になれば、都道府県議会の場合があるものの、個々の地域の実情や住民・被保険者の声を踏まえた対応は困難になります。減免などの基準が統一され、都道府県が独自の持ち出しを行なってきたこれまでの独自減免が根こそぎなくなってしまう。

国保「広域化」についての町長の考えを伺います。

伊藤町長 広域になったからと言って問題が全て解決するとは全然思っていません。

一番大きな課題は財政基盤の

問題であり、既に市町村間によつて深刻な格差が生じているのが実態です。そのような財政基盤の脆弱さや保険料負担の格差是正には、より広い連携のものと国保運営が進んでいくことが妥当な解決の方向と考えられます。平成29年度の実施を目的に、いよいよこれから国と地方団体

選挙の代理投票の啓発を強く

遠藤ハル子議員

遠藤ハル子議員 代理投票は病気がけなどで自書する事ができない方が代理で書いてもらえます。制度を知らない方が多く、選挙に行かない人の理由に高齢で介護を受けていて歩けないから行かない、書けないから行かないなど選挙投票の意思があるにも関わらず投票ができないと思っ

ている人がいます。啓発を深めてはどうかと考えます。

伊藤町長 代理投票については、選挙人より申請があった場合、投票管理者が2名の補助者を選任し投票を行うことになっています。選挙に参加をして、自分の意思をしっかりと表すこと

との協議も進み、今後の国の動向や議論の在り方を注視しながら、比布町に住む被保険者の皆さんにとつて負担を強いるような制度設計にならぬよう強く望むところであり、当面は現行制度の中で町として行うべき適正な国保運営に努力します。

は大切な事ですので、町としても大事な1票を無駄にしないよう、可能な範囲で協力をしていきます。



選挙投票日の様子

廃家屋・廃自動車の指導を

遠藤ハル子議員

遠藤ハル子議員 国の調査によりますと2008年時点での「空き家」は全国約757万戸、1978年と比べ30年で約2倍に増加しています。

「空き家」の増加は治安の低下や犯罪の発生、雑草の繁茂や不法投棄による公衆衛生の低下、景観の悪化や放火事件などのさまざまな問題を引き起こしています。冬場の除雪、屋根の崩壊、隣近所への配慮など愛着ある空き家をどうするかは、皆さん頭の痛い問題だと思いますが、滝川市では既に条例を制定し、持ち主に通告しております。

また、廃棄自動車も見受けられます。指導の強化が必要です。わが町でも条例が必要ではないかと考えます。

伊藤町長 現在、空き家への対応と致しましては、空き地も含めて雑草等管理について近隣住民ら苦情があった場合、所有者に対し文書で管理依頼を行っています。強制力があるものではなく、対応してくれる方と

そうでない方がいるのが現状です。滝川市については、指導・勧告・命令・代執行まで行うという内容で、それ以外でも解体費用補助制度等を設けている自治体もあります。

高齢化が進む中、市街地・農家を問わず確実に増えてくると予想され、この空き家・空き地対策は今後の重要な課題と認識をしています。現状を十分に把握し、施策を講じている市町村の状況や情報も収集し参考にするなど、方策について検討を進めます。

また、自動車については、廃棄または放置への対応について、住民から情報があれば警察署と連絡を取り合い対応を図っています。

なお、条例制定とのご意見ですが、民法など他法の関係や罰則規定の取り扱いなど、整理すべき点が数多くあることから、まずは研究をさせていただきま

皆さんも傍聴しませんか



9月10日開会の第3回定例会に4名の一般傍聴者のほか、中央小6年生ら35名が、総合学習の時間を活用し、傍聴にいただきました。

次回の定例会は、12月に開会の予定です。詳しい日程は、無線放送等でお知らせしていますので、ご留意ください。

また、団体でお越しの場合は、事前に議会事務局（TEL 85 - 4808）まで連絡をお願いします。傍聴をお待ちしています。

第3回臨時会

7月 26日

◆平成25年度一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算にそれぞれ3732万円を追加し、総額32億9304万5千円とするもので、全会一致で原案のとおり可決されました。

《主な補正内容》

- ・NPO法人への施設整備補助 3300万円
- ・火葬場合併処理浄化槽設置工事 280万円

第4回臨時会

10月 28日

◆財産の貸付

町の公有財産である「ほくれいロッジ」(北7線17号)について、土地・建物、設備などを宿泊等業務のため無償により佐藤満氏に貸し付けるもので、全会一致で原案のとおり可決されました。

・合併処理浄化槽設置補助 150万円

第3回定例会

10月8日
9月12日

平成24年度歳入歳出決算等が全会一致で認定・可決

平成24年度の一般会計と7特別会計について、監査委員の決算審査（7月25日から8月21日の実質9日間）を受け、その意見書を付して認定を求められました。たちに決算特別委員会（委員長・那須莞爾）を設置し、慎重に審議された結果、那須委員長より「認定すべき」との報告を受け、全会一致で認定することに決定しました。（審査内容の要点は8・9ページをご覧ください。）

報告

◆地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づく報告

法の規定により、平成24年度決算に基づく健全化判断比率等を報告するもので、町の財政運営状況が報告されました。

人事

◆教育委員会委員の任命

任期満了に伴う教育委員の任命について、引き続き工藤澄子氏と岡田功氏の2名が任命され

ました。

◆監査委員の選任

任期満了に伴う監査委員の選任について、引き続き箕川弘司氏が選任されました。

◆固定資産評価審査委員会委員の選任

任期満了に伴う固定資産評価審査委員の選任について、引き続き太田敏雄氏が選任されました。

規約

◆上川中部消防組合の解散

◆上川中部消防組合の解散に伴

う財産処分

◆上川中部消防組合の解散に伴う事務の継承

以上の3件は、平成26年3月31日付で上川中部消防組合を解散し、現状で配備されている支署及び消防団の利用に供する土地、建物、車両等すべての財産のほか、上川中部消防組合事務のうち支署及び消防団に係る共同処理していた消防事務を本町に帰属するもので、原案のとおり可決されました。

◆大雪消防組合への加入

上川中部消防組合の解散に伴う広域再編により、美瑛町、東川町、東神楽町で構成する大雪消防組合へ平成26年4月1日付で加入するためのもので、原案のとおり可決されました。

◆北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更

構成市町村が負担する共通経費の人口割に係る規定を改めるため本規約を変更するもので、原案のとおり可決されました。

補正予算

◆平成25年度一般会計補正予算（第3号）

歳入歳出予算にそれぞれ1788万7千円を追加し、総額33億1093万2千円とするもので、原案のとおり可決されました。

《主な補正内容》

- 米穀等生産振興事業 730万円
- ほくれいロツジ維持管理事業 600万円
- スクールバス運営事業 135万円
- 児童福祉管理費 108万6千円

意見書を提出

第3回定例会において、次のとおり意見書を採択し、それぞれ関係機関に提出しました。

◆道州制導入に断固反対する意見書

◆森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書

【提出先】

衆参両院議長、内閣総理大臣、内閣法第9条の第1順位指定大臣、内閣官房長官、総務大臣、内閣府特命担当大臣・道州制担当、財務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣

平成24年度決算を「認定」



平成24年度一般会計と7特別会計の決算認定にあたり、9月10日に決算特別委員会（委員長 那須莫爾）が設置され、2日間にわたり審議された内容の要点は、次のとおりです。

一般会計（歳入）

町税関係

問 町税の滞納者は固定化されていますか？

答 連続して滞納される方もいますので、納税相談などで分納をしていただいています。

地方特例交付金関係

問 大幅減の要因は本町の税収が増えたからですか？

答 あくまでも恒久的な減税分と児童手当分となります。

地方交付税関係

問 地方交付税減額の主な要因はなんですか？

答 地方交付税は地方財政計画により交付されるので、全国ベースの算定基準が下がったことが大きな要因と考えます。

使用料及び手数料関係

問 グリーンパークの収支を見て、使用料の改定もしくは、運営の変更を考えていますか？

答 良佳村全体に関わる問題ですので、議論に一定の時間が必要と思っています。

一般会計（歳出）

総務費関係

問 デジタル防災無線は災害時の緊急放送をすべきものであって、操作ミスは許されないとありますが、今後の対応は？

答 マニュアルの作成と、訓練等でしっかりと対応できるように研鑽します。

問 定住対策事業の効果について伺います。

答 若者への一定の効果はあったと思います。今後もPRを繰り返し、定住の促進を図ります。

問 エネルギー対策事業の申請件数は何件ありましたか？

答 太陽光発電システムの設置補助は、9件、108万円の支出がありました。

問 農工団地有効利用に向けた検討について伺います。

答 民有地所有者の意向を確認し、農業振興地域への再編も視野に検討をしています。

問 まちづくり応援寄附金の活用方法について伺います。

答 寄附をいただいた方々の意向に沿った形で有効に活用しています。

問 同郷会で行った桜の植樹の管理について伺います。

答 比布110年に多くの植樹をしましたが、雪害や台風などで被害があったことから補植等を行っています。

民生費関係

問 生活支援サービス（門口除雪サービス）の効果と今後の考え方について伺います。

答 多少の利用者からの課題はありますが、特に問題はありませんでした。今後も試行的要素を含め、事業を進めてまいります。

衛生費関係

問 子宮頸ガンワクチン接種で、町内では副作用など弊害がでていますか？

答 比布町においては副作用の報告は受けておりません。

農業費関係

問 担い手活動支援事業の家賃補助は、若手農業者の経済

的支援には有効と考えますが、さらに農家地区の後継者対策が必要では？

答 今後は農村地域の実情も考慮し、支援の方法についても検討してまいります。

問 営農活性化融資事業貸付金の活用についてお伺いします。

答 現在35件の貸し出しがあります。資金枠についても実績から考え妥当と考えます。

商工費関係

問 地域ふれあい館（ブンブンハウス）の活用と今後の考えについてお伺いします。

答 夏は町外者利用、冬は町民の利用になっていきます。協力金、暖房費をいただいておりますが、単年度では赤字の状況です。今後、内部検討してまいります。

問 村上山公園、八坂公園の利用促進についてお伺いします。

答 村上山公園は「びびの路」の入口ということで利用はありますが、八坂公園は場所も分り難く、木造の施設も劣化が激しく今後の維持管理にも課題があります。

消防費関係

問 火災報知機の設置については全町的なものとなりませんが、電池交換時期などの啓発は考えていますか？

答 消防署からの広報紙を通じて周知します。

教育費関係

問 スクールバスの運行について、町内業者から町外業者に委託業者が代わって支障はないか伺います。

答 安全・安心な運行が守られ、良心的にしっかりとやっていただいています。

問 近年、夏は猛暑が続きましたが学校給食における食材の管理は十分されていますか？

答 衛生管理基準に基づき、食材、施設、調理員の衛生管理については、厳重に行っています。また、今年度は、小中学校の厨房施設に冷房設備を設置いたしました。

問 フッ化物洗口の参加状況等についてお伺いします。

答 一部参加されていない児童もいますが、概ね保護者に

は好意的に受け止めていただいています。

問 学校給食における食物アレルギーの対策はどうなっていますか？

答 保護者からの保健調査票の提出をいただき確認をしています。給食として代替食の対応はしていませんが、保護者の判断をおかずを持って来ても良いことにしております。

問 チャレンジゼミの評価と今後の展開についてお伺いします。

答 昨年度は中学3年生を対象に、今年度は生徒、保護者からの要望により全学年を対象に実施しました。講義回数など検討し、引き続き継続したいと考えます。

特別会計

国民健康保険関係

問 給付費の不用額が多かったが過大見積ではなかったのですか？

答 結果的に不用額ができましたが、医療費については診療報酬額の積算に高低があり、読みきれない部分があります。

後期高齢者医療関係

問 普通徴収は何人で、口座振替をされている方はいますか？

答 普通徴収は144人で、そのうち口座振替は103人です。

介護保険関係

問 保険料滞納者に介護保険サービスの制限はありますか？

答 サービスを受けるにあたっての制限の実態はありません。

観光事業関係

問 観光事業（スキー場）において、暴風雪でリフトが休止したにも関わらず、人員、売上も10%近く伸びた要因についてお伺いします。

答 一番の要因は営業日数が多かったこと、また、ファミリーパックの導入が集客に繋がったと思います。

委員会の活動

activities

総務常任委員会

▼▼▼9月2日開催

【税務住民課関係】

- ・平成25年度（7月末）町税等の調定及び収入状況
調定額 2億7920万円
- ・平成25年度町税等課税状況
特別徴収656人、普通徴収1048人、計1704人
- ・上川広域滞納整理機構
比布町分取扱件数7件（7人）
差押件数 7件
徴収金額 54万9476円
- ・住民基本台帳カード交付状況
について（平成24年4月1日～平成25年7月末現在 12名）

【保健福祉課関係】

- ・第3回定例会提出議案
子ども子育て関連3法及び支援事業計画の概要

《経過報告》

- ・浄化槽協会総会 13名出席

- ・保護司会総会 5名出席
- ・老人スポーツ大会210名参加
- ・支え合いネットワーク推進事業視察（池田町） 19名参加
- ・総合特定検診
3日間、延べ308名受診
高齢者のつどい
対象者 205名出席
- ・支え合いネットワーク推進事業講演会 169名参加

【教育委員会関係】

- ・平成25年度教育費補正予算案の権限に属する事務の管理及び執行状況の点検・評価
- ・比布町小中学生スポーツ振興補助金交付要綱の一部改正
- ・比布中学校改築事業
- ・君の夢プロジェクト推進事業（卓球部）
- ・日本生命卓球部選手とコーチが来町、指導を受ける。
- ・中学生チャレンジゼミ
1～2年生は2回、3年生は5回（計44名参加）

- ・平成25年度比布町文化賞及び文化奨励賞
ひろがり文庫（代表 安藤裕子さん）が推薦される。
- ・まちづくりリーダー育成事業
テーマ「比布町経済とまちづくり」旭川大学教授 江口尚文氏が講演（7名受講）
- ・公立高等学校配置計画案（平成26～28年度）
「びっぴ×みなみそうま」青少年体験交流会
南相馬市より小中学生42名来町

【総務企画課関係】

- ・第3回定例会提出議案
- ・平成25年度普通交付税の決定 16億5691万円
- ・平成25年度人事院勧告
- ・定住促進に向けた取組状況
ふれあいタウン2区分分譲
電気料金の値上げ
- ・平成26年度職員採用試験
保健師 1名採用予定
- ・ふるさと納税の状況
累計79人 2529万円
- ・友好交流事業
JR駅舎（南・北比布）リニューアル

産業建設常任委員会

▼▼▼9月4日開催

【産業振興課関係】《農林部門》

- ・地域農業再生協議会収支決算
農地流動化対策補助金・作業受委託補助等1861万6965円、協議会運営費61万8千円等、合計1925万4524円
- ・経営所得安定対策加入申請状況
米の直接支払交付金加入申請者計180名、未加入者2名
水田活用の直接支払交付金、農業者271名、受託組織1名
畑作物の直接支払交付金、対象作物作付者75名、受託組織1名
- ・作物作付状況
WCS（飼料用に栽培した稲を利用）作付戸数9戸、作付面積18万2510㎡、生産予定数量32万1210kg
- ・泥んこバレー2013実施
22チーム参加（町内8、町外14）
- ・地域づくり総支払交付金（補正予算案）
比布WC生産部会機械導入補助事業費1550万円、補助額730万円（間接補助）
- 《商工・観光部門》
・「遊湯びっぴ」施設管理運営
入浴3万5147人昨年比1

07・2%

宿泊2966人昨年比11
1・3%（7月末現在）

A重油価格の推移

開設時平成10年10月24・7円

現在 平成25年8月84・5円

・グリーンパーク利用状況

利用者1万4402人

昨年比97・2%9月1現在

・いちご狩り結果

期間6月23日～7月10日、農

園数7農園、約4400人入込

・商工業関係支援事業

ここ数年は利用が少ない為、

商工業者の現状を踏まえ見直し

も検討。

・北の恵み食べマルシェへ参加

いちごジャムと冬期間、雪番

屋で提供するエゾシカカレーを

販売。スキー場PRと併せての

出店。

・ぴつぷスキー場運営方針

昨年度好評のファミリーパッ

クを今年度も継続発売。

シーズン券を町外施設で販売。

大人1日券4枚（半券）で特別券

（1日券相当）1枚と交換。

・一般会計補正予算案

ほぐれいロッジ新館屋根と連

絡通路閉鎖に係る修繕等により

増額補正600万円

【建設課】

・市街地区道路清掃作業クリー
ン作戦（5月12日実施分）

1033世帯、162袋回収、

奨励金額15万6450円

・降雨災害について8月19日以

降の断続的な集中豪雨により

次の場所を補修（北15線14号、

北12線14号、北7線沢道路、北

1線17号）

・（仮称）西町駅前団地平面配置

計画等について

経過等について説明を受け、

入居対象、優先対象、引越し経費

等を確認。外観案、平面図案につ

いて協議。

【農業委員会】

・平成25年産水稻作況調査日程

・農地法及び基盤強化法による

農用地集積について

産業建設常任委員会

10月9日開催

【産業振興課】《商工・観光部門》

・財産の貸付について

公有財産（ほぐれいロッジ）の

契約更新のため、無償による土

地・建物等の貸付内容について

協議。

全道町村議会広報研修会

場所・札幌市（京王プラザホテル札幌）



氏 徹 深沢

平成25年8月20日、札幌市に
て全道町村議会広報研修会が開
催されました。

この研修会は、道町村議長会
が主催するもので、その目的は、
多様化する広報媒体の中、議会
広報誌は現在も紙面による広報
手段が取られる為、広報誌とし
ての存在や編集技術の研鑽を目
的とし、開催されるものです。

講師の深沢徹先生は、山梨県
身延町議会議員を6期務め、そ
の後、議員活動と議会広報の普
及発展の功績により叙勲も受け
られております。現在は、全国町
村議長会広報コンクールの審査
委員会に所属する豊稜とした82
歳で、元気の秘訣はカラオケと
写真撮影そして、議会広報誌編
集指導の3点セットです。



講演の中では、道内各地より
依頼があった広報誌を実践的に
審査・指導する議会広報クリ
ニックも取り行われ、①明確な
議事公開、②分かりやすい議事
と見出し、③読みやすい紙面つ
くりの3点に着目し、12誌の、記
事の内容・掲載順序・配列方法・
写真・グラフィック・フォントの使い
方等、多岐にわたった手法を
学ぶ機会となりました。

ご教授頂いたことを基に、今
後より身近な議会広報誌である
為の編集、発行に努めて参りま
す。

佐藤 康則

◆◆◆ 議会のうごき ◆◆◆

8 月

- 9 日 上川教育研修センター議会(旭川市、議長)
- 13 日 戦没者追悼法要 (比布霊園、議長)
- 19 日 家畜慰霊祭 (ふれあい広場、議長)
- 20 日 全道町村議会広報研修会(札幌市、各委員)
- 21 日 上川町村議会議長会緊急役員会
(旭川市、議長)
- 23 日 上川中央部市・町議会議長会定例会議
(愛別町、議長)
- 30 日 東神楽 120 年記念式典 (東神楽町、議長)

9 月

- 2 日 総務常任委員会 (役場、各委員・議長)
- 4 日 産業建設常任委員会(役場、各委員・議長)
- 6 日 戦没者追悼式 (改善センター、各議員)
議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
- 10~12日 第 3 回議会定例会 (役場、各議員)
- 10~11日 決算特別委員会 (役場、各委員・議長)
- 11 日 議会改革特別委員会(役場、各委員・議長)
- 12 日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)

10 月

- 9 日 まちづくり計画策定に係る懇談会
(役場、全議員)
産業建設常任委員会(役場、各委員・議長)
- 15~18日 常任委員会合同道外行政調査
(岩手県・宮城県、各議員)
- 21 日 議会広報特別委員会 (役場、各委員)
- 22 日 上川管内町村議会議長研修会
(上川町、議長)
- 25 日 上川中部消防組合議会定例会
(上川町、各組合議員)
- 28 日 議会運営委員会 (役場、各委員・議長)
第 4 回議会臨時会 (役場、各議員)
- 30 日 議会広報特別委員会 (役場、正副委員長)
管内町村議会議員研修会(旭川市、各議員)



▲ 常任委員会合同道外行政調査の様子

◆ 編集後記 ◆

豊作の秋を迎えました。今年の遅い春の事を思えば考え難い事なのかもしれませんが。農業者の皆様はしばしの安堵かと思えます。

国の農業政策や方針等により転作物、作付けが変わります。国が支出する補助により水稻や畑作もメリットの高い物へと変わって行きます。作付面積はさほど変わりませんが町としての輪作体系を考える事も大事かと思えます。

この度、比布商工会青年部が町の振興発展の為に『大雪山が一番綺麗に見える町 びつぷ町』というテーマを掲げた写真コンテストを開催しました。町外からの参加作品もあり、応募のあった作品はどれも素晴らしい写真です。普段見慣れた風景ですが、改めて見直す良い機会となりました。

いつまでも比布町の素晴らしい田園風景が残るよう守っていききたいと思えます。

(今井明信)